



じゃがいもずきん「ききぼう」くん

防災ワンポイント 第33回 除雪のコツ

除雪のこんなときが危険

「除雪」は雪国では生活の一部ですが、いろいろな危険が潜んでいます。除雪に伴う事故は、ちょっとした注意で防ぐことができます。どんなときが危険なのかを知って、安全な冬を過ごしましょう。

雪に関する死亡事故の9割以上は除雪に関係した事故によるものです。

除雪のこんなときが危険!

除雪(雪かき、雪はね)は雪国では生活の一部ですが、いろいろな危険が潜んでいます。除雪に伴う雪の事故で毎年、たくさんの方がけがをしたり、死亡しています。それらの事故はちょっとした注意で防ぐことができます。どんなときが危険なのか、しっかり知って、安全な冬を過ごしましょう。



はしごから落ちる
はしごを上り下りしているときに転落し強打。

屋根から雪が
軒先にできた雪庇やつららを落としているとき、頭に屋根からの雪のかたまりが落下。

屋根から落ちる
屋根の上に行って雪下ろしや雪庇落としをしているとき、バランスを崩して転落。

融雪槽や川へ転落
融雪槽や川に雪を投げ捨てようとして、誤って転落。

作業中に急な発作
除雪作業中に発病。心臓停止のまま発見が遅れることも。

除雪機の実操作ミス
エンジンをかけたまま、詰まった雪を取り除こうとして手を挟まれ大けがなど。吹き飛ばした雪が通行人にあたっけがをすることも。

滑って転ぶ
玄関前の階段やスロープで滑って転倒し骨折。

交通事故
車庫前や車道付近の除雪中に、雪山のかけから出てきた車と衝突。バックしてきた除雪車にひかれるなど。

除雪による事故を防ぐチェックポイント

雪かきをするとき

- 準備運動・整理運動をしっかりと
- 滑りにくい防寒靴も含めて服装は万全に
- 腕の力だけに頼るのではなく体全体を使う
- 雪を投げ出すときは体をひねりすぎない
- ニコニコペースで無理をしない
- もしものために2人以上で作業
- 屋根からの落雪など周辺状況を十分把握

屋根の雪下ろしをするとき

- 低い屋根の雪下ろしでも油断は禁物
- ヘルメット、命綱、安全帯など装備は万全に
- アンカーをしっかり固定し命綱を忘れずに
- はしごは横ずれしないよう真っ直ぐに立て支えてもらう
- 屋根の下に人がいないことを確認
- 屋根に10cm程度の雪を残し屋根材を露出させない

除雪機を使うとき

- 除雪機を使うときは周りの人に注意
- 雪詰まりはエンジンを停止してから雪かき棒で
- 後進には十分注意
- エンジンをかけたまま離れない

「除雪のこんなときが危険」は、ウインターライフ推進協議会による「除雪のコツおしえます。」(<http://yukikaki.jp/>)を引用しています。

詳しくは、総務課 防災係まで。